

平成27年度第1回南あわじ市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成27年6月1日（月）
午前10時00分開会
午前11時40分閉会

2. 場 所 南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

3. 協議事項

- (1) 南あわじ市総合教育会議設置要綱について
- (2) 南あわじ市教育大綱の策定について
- (3) 教育課題等について

4. 出席又は欠席した構成員氏名

出席構成員

<南あわじ市>

南あわじ市長 中田 勝久	教育長 岡田 昌史
教育長職務代理人 前川 美津子	教育委員 轟 孝博
教育委員 岡 一秀	教育委員 郷野 祐佳

<学校組合>

管理者 中田 勝久（兼務）	教育長 岡田 昌史（兼務）
教育長職務代理人 山下 富弘	教育委員 前川 美津子（兼務）
教育委員 郷野 祐佳（兼務）	

欠席構成員

<学校組合>

教育委員 河上 和慶

5. 事務局関係職氏名

企画部長	橋本 浩嗣	ふるさと創生課長	北川 真由美
教育次長	藤岡 崇文	教育総務課長	山見 嘉啓
学校教育課長	廣地 由幸	社会教育課長	福原 敬二
体育青少年課長	柏木 浩一		
教育総務課課長補佐	坂田 真由美	教育総務課係長	榎勢 美和

開 会 午前10時00分

【藤岡教育次長】 失礼いたします。

定刻になりましたので、只今より、平成27年度第1回南あわじ市総合教育会議を開催いたします。わたくし、本日の進行役を務めさせていただきます南あわじ市教育委員会教育次長の藤岡です。よろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして当会議の主催者であります中田市長より、ごあいさつをお願いいたします。

【中田市長】 教育委員の皆さん、おはようございます。

今も次長の方からお話がありましており、平成27年度第1回南あわじ市総合教育会議を招集させていただきましたところ、公私何かとご多忙の中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

この法律が改正され、初めての会議開催ということになりました。また、委員の皆様方には、日頃から南あわじ市の教育に格段のご尽力をされていますこと、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、今回、大津市の中学生のいたましい事件が端を発しまして、改正されました新たな地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、この総合教育会議を設置することになったと伺っております。この総合教育会議を設置することになりましたが、要はこの会議の目的としては、未来の淡路島、或いは日本をしょって立つ子どもたちを安全、安心な教育環境のもとに、郷土を愛し、たくましく、おもいやりある人に育てていただくために設置されたものです。

子どもたちの成長には、家庭や地域、学校による教育も大事でしょう。また、医療や福祉などの行政施策との連携による総合的な力も大事になってくると思います。

ついては、この会議により、教育委員会と市長部局がより一層連携いたしまして、子どもたちのすこやかな成長がなされることを願って、大変簡単でございますが冒頭のあいさつといたします。

今日は、よろしくお願いいたします。

【藤岡教育次長】 ありがとうございます。

本日の会議につきましては、円滑に、また効果的に運営できるよう、進行につきましては、教育委員会事務局で行わせていただきたいと思います。

市長、それでよろしいでしょうか。

【中田市長】 はい、結構です。事務局でお願いします。

【藤岡教育次長】 それでは、引き続き事務局の方で進行をさせていただきます。

この会議の構成員につきましては、市長及び教育委員会ですので、通常の市町村であれば6名ですが、南あわじ市につきましては、ご存じのとおり南あわじ市・洲本市小中学校組合がごいますので、2名の洲本市の組合教育委員さん方にも加わっていただいておりますので、8名が構成員になります。

協議に入ります前に、事務局も含め、本日の会議の出席者の紹介を わたくしの方からさせていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

(出席者の紹介)

なお、この会議については、自由闊達な発言によります委員間討議が基本でございますので、よろしくお願いいたします。

会議の次第のとおり、本日の協議事項につきましては、「南あわじ市総合教育会議設置要綱について」、「教育大綱の策定について」、「教育課題等について」の3件でございます。

協議に入る前に、配布しております資料の確認をさせていただきますと思います。

(資料確認)

【藤岡教育次長】 それでは、協議事項の(1)、「南あわじ市総合教育会議設置要綱について」に入りたいと思います。

お手元に配布の南あわじ市総合教育会議設置要綱(案)をご覧くださいと思います。

この(案)につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4で規定されております「総合教育会議」の目的や構成員、会議の手法などを参酌して、この会議が適正に運営できるよう規定しているものでございます。全国の地方自治体におきましても、この内容は大きくは変わらないと理解しております。また、事前に中田市長には確認をしていただいております。

それでは、要綱(案)の朗読をもって、提案とさせていただきます。

事務局の教育総務課長より、提案をさせていただきます。

【山見課長】 (要綱朗読)

【藤岡教育次長】 事務局からの提案が終わりました。

なお、補足ですが、要綱(案)の第9条「庶務」につきましては、「教育委員会教育総務課において処理する。」とあります。県内の市町では約2/3が市長部局の担当が

多いと聞いておりますが、南あわじ市におきましては、教育委員会事務局に担当を置いております。

といたしますのは、総合教育会議における協議事項の多くは教育分野に関わることが想定されることから、事前に市長部局と協議した上で教育委員会事務局に置く方が、効率よく会議の運営がなされるであろうという合理的な判断によりまして、執行体制を決めております。

また、市長部局の政策担当の企画部にも出席をお願いし、総合的な調整を行うこととしております。

以上で設置要綱（案）の説明を終わります。

ご質問、ご意見があればお願いいたします。

（「異議なし」の声あり）

【藤岡教育次長】 異議なしのことばをいただきました。

それでは、（案）を取らせていただき、これを正式に「南あわじ市総合教育会議設置要綱」とさせていただきます。

これで協議事項（１）は議決されました。

【藤岡教育次長】 次に協議事項の（２）、「南あわじ市教育大綱について」協議いたします。

大綱については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の３で、「地方公共団体の長は、教育基本法第１７条第１項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。」と規定されており、この総合教育会議にて策定することが定められております。

また、教育基本法第１７条第１項に規定する基本的な方針とは、国が策定する「教育振興基本計画」のことですが、同条第１項には「政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、国会に報告するとともに、公表しなければならない。」と規定されております。

つづく、同条第２項には「地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。」と定められています。配布資料の「第２期南あわじ市教育振興基本計画」が、これにあたります。

南あわじ市においては、第１期計画を平成２１年度末に策定し、５年ごとに計画を改定しており、合併後の１０年目にあたります本年の３月にこの「第２期南あわじ市

教育振興基本計画」を策定委員会を設けて、計4回の審議を行った上で、策定委員会より教育委員会に提言のあったものを教育委員会で審議した上で策定したところです。期間につきましては、本年平成27年度から31年度の5年間となっております。

【中田市長】 只今、教育次長から説明がありましたとおり、ちょうど南あわじ市におきましては、合併10年目にあたり、このたび「第2期南あわじ市教育振興基本計画」が策定されております。教育次長から説明がありました南あわじ市教育大綱の策定につきまして、ご意見をいただきたいと思っております。

【岡委員】 今、教育次長の方から説明があったとおり、大綱については、教育基本法で教育振興基本計画を参酌して策定するよう規定されているとのことから、幸い、南あわじ市ではこの3月に改定したばかりで、今の南あわじ市の教育の現状をしっかりと踏まえていると思っております。策定作業はスムーズにいくと思うのですが。

また、参酌するということですが、教育振興基本計画は、教育施策の具体的な内容にまで触れていますが、大綱は大まかな方針のことと理解しますから、振興計画で示している基本的な目標を謳えばいいのかと考えますが、どうでしょうか。

【中田市長】 ありがとうございます。

今、岡委員から発言がありましたが、他の委員から何かございましたらお願いします。

【郷野委員】 私も同感です。教育振興基本計画が改定前で、策定から4年経てば現状課題も変わっているので、少しは時間をかけて手を加えないといけないと思っております。南あわじ市の場合、先ほど岡委員が言われましたように、改訂したばかりですので、それをベースにしたらいいと思っております。

ある自治体では、スローガンのごく短い大綱とかもあるように聞きます。南あわじ市の振興計画では、基本理念の「ふれあい共生の人づくり ―知恵あふれ、ふるさと南あわじを大切に作る人づくり―」的な感じでしょうか。

あと、もう少し付け加えて、教育施策の重点的な項目も記述してはいかかでしょうか。

【中田市長】 ありがとうございます。

他にございませんか。

概ねこのようなことで、内容的に異議がございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【中田市長】 ありがとうございます。

それでは今、委員の全員の方から特に異議がない、と受けとめましたので、そのように進めさせていただきます。

先ほど、岡委員、また郷野委員がおっしゃった教育振興計画の基本理念は、南あわじ市の総合計画から引用されたと聞いておりますし、また南あわじ市総合計画のめざす都市像が『食』がはぐくむふれあい共生のまち」ということで、3本の柱のうち2番目の柱が「人づくり ～知恵あふれ、郷土愛が満ちるまちづくり～」でございます。それをうまく教育的に引用していただいております。

この3月に策定されました「第2期南あわじ市教育振興基本計画」は、ちょうど合併から10年がたったところでございますし、教育委員会で南あわじ市の現状を踏まえ、慎重に審議いただいておりますから、新たに大綱を検討してみても、内容的には同じようになるのではと私自身も思っております。

私も皆さんと同意見でございます。

実は、法的にも規定されていることから、事前の事務局との打合せにて（案）を用意するように指示をいたしておりました。

教育次長、用意していたものを皆さんに配っていただきますか。その（案）で協議するようにしてください。

【藤岡教育次長】 それでは、市長よりご指示がございましたので、「南あわじ市教育大綱（案）」を配布させていただきます。

事務局の教育総務課長より「南あわじ市教育大綱（案）」を朗読いたしますので、その朗読をもって提案とさせていただきます。

【山見課長】 （「南あわじ市教育大綱（案）」を朗読）

【藤岡教育次長】 只今、提案させていただきました教育大綱（案）について、何かご質問ご意見等、ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【藤岡教育次長】 異議なしのことばをいただきました。

それでは、この素案をもって正式に「南あわじ市教育大綱」として、策定させていただきますことよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【藤岡教育次長】 異議なしの発言をいただきましたが、市長、決定させていただいてよろしいでしょうか。

【中田市長】 はい。それでは、「異議なし」の声をいただきましたので、そのようにしてください。

【藤岡教育次長】 はい。それでは、これで協議事項（２）は議決されました。

【藤岡教育次長】 続きまして、協議事項（３）、「教育課題等について」に移りたいと思います。

これより、委員の皆さん方から南あわじ市の教育の現状を踏まえまして、「教育課題等について」というテーマで、意見交換を行いたいと思います。また、この総合教育会議の役割や期待することなどでも結構でございますので、それぞれの所見をお願いしたいと思います。

【岡委員】 今いちばん感じているのは、子どもの数が少ないということです。南あわじ市が保育料の無料化をしたということは、喜ばしく思っております。

私は、普段は田んぼにいるときとか子どもの様子を見ているのですが、低学年の子どもが１人で帰って行ってるんですね。またしばらくしたら、中学年の子どもが帰って行ってるんですね。昔は、我々の同級生は１０人くらいおったのですが、実に寂しいです。帰ったらこの子どもたちは、何をしているのだろうかと思うのです。家の中でゲームとかをするしかしかたないのかな、と思っています。

少子化対策で保育料を無料化したのだと思うのですが、他にも方策を考えないといけないと思います。

私の地元は西淡志知小学校で小規模校なので、家に帰ったら遊ぶ相手がいないのですね。「放課後子ども教室」をやっていると思うのですが、週１回なのですね。「学童保育」になれば、どうにかなるのではと思うのですが。小規模校にも何とか学童保育が実施されればと思います。放課後に学校内で遊ぶということは、なかなか難しいことなのですが、学校内で学年が違う子どもたちがのびのびと過ごすことは、素晴らしいことだと思います。

【中田市長】 ありがとうございます。

他の委員さん、いかがですか。

【前川委員】 教育委員は、今年で３年目でございますが、市内の小中学校を訪問したり、

他市の教育環境に接するなかで、南あわじ市が非常に進んでいる、すばらしいなど思うところがあります。

耐震工事も完了し、情報教育機器、ネットワークシステムも再整備に移るくらいに進められております。ICTを活用した授業で教育効果を上げていますし、驚くべきことは、小学校には外国人講師を先行配置し、そのうえ昨年度からは外国語活動支援員を配置しております。これも先進地を視察した翌年には南あわじ市で導入されております。

そして今年は、全中学校に空調設備を整備し、小学校についても適宜行っていくことになっております。

教育を考える場合には、人と物とお金という三位一体で考えていかなければいけないと常々思っておりますが、学校の施設整備、それに対する現場の要望のヒアリングを非常に丁寧に吸い上げていただいて、各学校の状況に合わせて実施されていて、これは素晴らしいことだと思います。

また、子どもたちの安心・安全の確保のために、こどもあんしんネットで、一斉に配信されることで、働いている保護者たちも、地域の人たちもその情報によって精神的にも安心できるような、スピーディーな施策を取っています。教育委員会での常々の取り組みに非常に頭が下がる思いでおります。

現実には、教育改革が急テンポで進んでいますので、「課題教育」という名のもとに現場には非常にたくさんの保護者、地域、国、市のすべての願いが学校に集中しているものがございしますが、それぞれの学校で学級内を見ていると個々に問題を抱えている子どもが見受けられます。お願いするのは、人的配置ということです。やはり「人づくりは、人が人をつくる。」ということを考えてときに、やはり人に対する厚い支援、現場の声を更に吸い上げていただいて、一人一人の子どもたちが毎日学校に行くのが楽しい、その楽しい姿を見て親も生きがいを感じる、地域の人たちも地域の子どもたちを地域で守ろうということにつながっていくと思いますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

南あわじ市では、知・徳・体、また食育も進んでおりますし、岡田教育長は、今年には更に社会性・規範意識を身につけ、自立して未来を生き抜く人に育つことを願って、一枚岩になって進もうとしておりますので、今日も大綱ができましたので、連携を密にして取り組んでいかなければならないと思ひます。

市に暮らしている一人一人が幸せだなと感じられるような教育施策をお願ひします。

【山下委員】 私は、今年で2年目になるのですが、もともと学校とは関係なかったので、わからないことがあり、他の教育委員さんのように難しいことは言えないのですが、まずこの「教育課題等について」ということで、これは何でもいいのでしょうか。

【中田市長】 どうぞ。

【山下委員】 岡委員のおっしゃるように私の住んでいるところも本当に子どもが少なくなってきました。昔は近所に同級生とか何人かいたのですが、それが教育的によかったのではないかと思います。学校では教えてくれないことを地域の人、兄弟とかが教えてくれたように思います。

それから手前味噌ではありますが、私は趣味でカラオケをやっております、学校の授業でもカラオケをやってはどうかと思ったりします。音楽の成績は、私はあんまりよくなかったです。しかしカラオケの練習をして、おかげさまで南あわじ市で5年前の大会ではよい成績を納めました。今の小中学校の生徒たちは、体格もよくなってきております。私はスポーツはあんまり得意ではないのですが、スポーツの好きな人と勉強の好きな人と、それぞれ自分の好きなことが何か一つあればいいと思います。全体が平均点でなくても、私はいいと思うのです。一人一人の個性が伸ばせる教育を現場の先生に期待します。成績をつけないということを最近きくのですが、点数、順位があってもいいと思うのです。それに向けてがんばっていこうという気持ちがわくと思います。

【中田市長】 ありがとうございます。

【郷野委員】 先ほど、岡委員も言われましたが、人口減少が進む中、南あわじ市では保育料を無料化し、産業振興を図り、人口増につながるすばらしい取り組みがされております。しかし親にとっては、自分の命より大切な子ども、また未来を担っていく子どもたちによりよい教育を提供できるよう常に考えていかなければ、本当の人口増は望めません。先ほどの大綱の中で、基本理念「ふるさと南あわじ市を大切に作る人づくり」とありますが、これは自分の生まれ育った地域に愛着や誇りを持ち、人々を思いやる心、地域の中で役割を果たそうとする態度を養い、定住増につながると思います。

また、地域の将来を考えることをスタートとし、そこからもっと大きく視野を広げて夢や希望を持って日本、いや世界に羽ばたける人材がこの南あわじ市から出てくれたらと思います。

次世代の人材を育てる教育の基本方針7項目はどれも本当に大切だと思いますが、私は特に確かな学力の確立が大切だと思います。学校訪問で感じたことは、先生方の授業力に差があるということです。学区制が変わることを念頭に学力向上に向けての取り組みを始めた学校では先生方も生徒も生き生きしており、授業に活気がありました。校外で問題を起こすことがあっても学校では問題を起こさない生徒に校長先生が尋ねると、勉強でわからないところがあれば誰でもちゃんと教えてくれる、みんなに

嫌われたくない、ということでした。学校現場での問題は授業のおもしろさが解決してくれるという話を聞いたことがあります。それほど授業は大切なのです。先生方には十分に授業研究をしていただき、また児童、生徒と向き合う時間を確保していただきたいと思います。確かな学力の確立は大きな志や夢、希望を持つことにつながります。しかし現実には先生方は業務が増え、多忙で帰宅時間も遅くなっていると耳にします。先生方がもっと本来の仕事に打ち込むことができるような、質の高い教育ができるような人材の確保、先ほど前川委員も言われましたように人をつくるのは人であり、市独自の加配など予算の問題はありますが、どうかよろしく願いいたします。

【轟委員】 岡委員、前川委員、郷野委員とまったく同感なのですが、違うことといたしますと私も教育委員として今年は、3年目になります。実は私は義務教育は全く知らない状態で教育委員会に入ってきました。高等学校に勤めていましたので、放課後のあり方ということは、高等学校ですと部活動があったのですが、小学校はほとんど社会体育で野球、バレーなんかをやっています。先ほど岡委員が言われましたように、週1回くらい、十何校かでスポーツを嗜むことをやっているらしいのですが、それくらいで子どもが減ってきてるし、子どもの地域性というものは全くなくて、一番問題が出てきているのは、親の権利主張ばかりで、小学校や中学校におかれましては保護者の義務を果たさずに権利主張ばかりが多いというのが見えてきます。

それと先生方が、子どもたちに授業を教えているのですが、コミュニケーションの取り方がちょっと違うのではないかと思います。「こんなことをして、もし何か言われたらどうしよう。」と恐れている感じで、子どもを指導しているように思います。それはすぐに保護者が教育委員会に言うとか、脅すみたいな脅迫みたいなことを恐れて、先生方がしんどい思いをしているので、学校もそういうことにくじけず、がんばってもらいたいと思います。責任は教育委員会が取らないといけない部分もあるとおもうのですが、その前に管理職が二人配置しているのですから、その管理職が責任を取らないといけないのですが、取る管理職もいますが、最近では取れない軟弱な管理職が多くなっていると感じます。ただし学校を管理する上は必ず学校を守っていく姿勢が大事ではないかと思いますので、学校訪問の時に、こういったことを言っておこうかと思っております。

【中田市長】 ありがとうございます。

【岡田教育長】 これですべての教育委員の方から発言していただいたのですが、的を得ているという感じがします。

学校現場では、先生方は日常さまざまな業務の中で、時間的にも朝出たら、夜遅く

まで現場で働いていただいております。この件につきましては、それぞれの学校において特に業務改善ということで、ここ3年前くらいからずっと取り組んでおります。でもなかなかこの業務改善というものは、思うように進んでいないのが実態であります。やはりおっしゃってましたように、いかに子どもに向き合う時間をできるだけ多く確保するかということが大きな課題であります。学校現場というものは、さきほどからありますように、保護者の思い、子どもの思い、地域の思い、いろんなところからいろんな情報がきます。それに的確に対応していかなければならないということで、非常に仕事の量が多くなっている実態があります。教育というものは、時間をかけてやっていく必要があるし、人は環境の中で育つといいます。いかにその環境をふさわしい環境にするかということです。学校現場のふさわしい環境というものは、できることなら人的な配置であったり、場合によっては加配ということもあります。まさにこのあたりがこれからの我々の取り組みにかなりかかってくるのではないかと思います。結局、環境整備、施設整備とかは、市長の理解もあって南あわじ市では、かなり進んでおります。しかし学校現場の最大の環境というものは、私は教師であると思います。いかに教師の指導力、技量、子どもたちをその気にさせる先生の力を育てていく必要があると思います。ここ何年かは退職される先生方が多くなっております。こういうことから新たな先生が採用されております。ですから新しい先生にもいかに支援していかなければならないかと、県教育委員会にも働きかけているのですが、南あわじ市においても最大の環境は教師であるという思いで考えていきたいと思っております。またよろしくお願ひしたいと思ひます。

【中田市長】 ひととおりの意見をお伺ひいたしました。私から少し日頃感じていること、今回初めてこのような会議をもったということで、私なりの思いを少し時間をいたひてお話しさせていただきたいと思ひます。

何点か具体的な話が出ました。少子化の問題は、常々そのまま見過ごして、行政にその時に携わった者が少しでも何か施策を、という思いがこの役を受けたときから思ひておひまして、いろいろと職員なり市民の皆さん方からのご意見を聞きながら、施策としてやってきました。何点か評価をいただいた部分があるのですが、なかなかこれはという大ヒットはございませんが、やはりちょっと先ほど委員の方からも触れていただいた保育所なりの無料化施策、また0歳児から中学校卒業までの通院・入院も全部無料にしたりということがございます。いろいろ施策を打っております。やはりもう少し踏み込んだ取り組みもしたいと思ひておひますので、またこれから具体的なことも皆さん方にも、ご報告しながら進めたいと思ひておひます。

それからポイントは、人というものがいかに大事かということで、そのためには人材が必要であると。時には、教育現場での加配の先生方を考えていただきたいというお話しがありました。これにつきましては、教育委員会ともいろいろと具体的なお話しも

していきたいと思います。当然私がいろいろできるのは、やはり施設整備、お金のいる部分が主でございます、耐震化につきましては県下で2番目のスピードでできましたし、今幼稚園なり保育所になっております。そういうことからできるだけお金をいかに有効に大事に使うかということをし少し触れていただきましたが、今年から空調整備を順次取り組んでいくということでございます。ただこの空調整備でございますが、この空調整備をただで終わるかといったら、あとのランニングコストが結構かかってきます。これらが今後どうしていけばもう少し節約できるのかの考え方も必要かなと。ただ付けたからといって必要な時間、朝から晩までつけっぱなしということではなくて、学校の管理者である校長、教頭に十分管理をしてほしいと思います。

次に私の教育に対する考え方でございますが、これまでも私の基本的な考えは、教育は中立でないといかんと。特に行政畑のリーダーが、とやかくいうことによって、いい方向につながる場合とおかしな方向に行かざるをえない場合とありますので、私自身はこれまでは教育委員会には、取り組みや考え、時には必要なときにはお話ししておったのですが、内容についてはあんまり言っておりません。今回、このように法律が改正されましたが、強いて言うならば、そういう姿勢がよかったのかなと、また少し考え直さないといけなかったのかな、という機会を与えていただいたように思います。一方教育委員会に対しての首長としての意思疎通が十分でなかった面もあったのではないかと反省もしておりますが、せつかくの総合教育会議でございますが、年に限られた会議でございます。また個人的にでもいろいろと皆さん方のご意見、また私の考えもお示しをしていきたいと思います。先ほども何回も言われました人材育成、これは教育の何よりの一番の目的です。当然学力もでございますが、やはりその中の山下委員がおっしゃっていましたが、自分の得意とするものをいかに伸ばしていくかということ、指導者である教師と子どもたちとの意思疎通ができるようにしていただきたいと思います。

教育をするうえは、保護者、地域は大事でございますが、しかしあまりにもこれを重要視、またそれを尊重するあまりにいろいろと教育の基本である対応として、今幼稚園の統合問題が完全に進んでいるとは私は思いません。これは今いろいろ申し上げたように保護者、地域そういう関係の問題が十二分にあるというのが私も承知しております。しかしこれは、その地域の保護者、地域の考えを踏襲していくと、やはりその最後のまとまりができてこないと思います。ですから教育長、教育委員会には酷な言い方ですが、今具体的に申しますと西淡の幼稚園の統合が、今のそういう出ている方向でずっと進めていくのか。いや3年5年したらそれは見直すのやという方向性をやはり私は聞かせてほしいと思います。このままでいくとばらばらでせつかく中学校や小学校が統合できたのですから、その辺を一度考えていただきたい。あと湊や西淡志知との関係もあるのですが、やはりある程度まとまったところの方向性を出していただく。私も今回こういう会議を持ったのですから、こういう話題も今後是非出して

いただきたいと思います。

それからよく言われるのに、5・6年前と思うのですが、3市長が寄っておりまして、そこに井戸知事が来て「淡路3市長、学力えらい低いぞ。あんたらも本気になってがんばらないかんのちがう。」ちょうど消防の総合訓練の時に横に来て言われました。3人、「あんまり僕らもどの程度が低いのか、どの程度が高いのか、なかなか掴みにくいな。」と3人で話をしたこともございます。つい最近も、結構歳をいった人なのですが、「南あわじ市の子ども、どうも学力が低いんちがう。」と私に言われました。私は「具体的にそういう数値も見っていないし、教育長とももちろん話はしていないのですが、そういうふうにお感じになりますか。」と申し上げたのですが、そういう風潮がちょっと世間に出ているようでございます。ですから今後、あくまでもこれは教育委員会、学校の先生方、当然保護者であったり、地域、また私ども一般行政もいろいろと役割分担があると思いますので、いろいろ議論してみたいなと思います。

最後になりましたが、先ほど触れましたが、耐震化の整備が、案外一般の市民には、理解されていない。教育委員会また行政、すべての職員がいろいろ苦勞してできるのでそういう安心・安全に対する整備をしたり、財政の確保なり、またいろいろやりくりなり、将来展望なりを考えて取り組んでいるのですが、一般市民の人は「して当たり前や。」と。「早くても遅くてもせんなんのやから、早くしてもらったら有難いだけや。」というような。「学校の先生方や教育委員会の方、1番よく聞くとされています。私たちがいくら逆立ちや、100回言うより、教育委員の先生方が1回言ったら、そっちの方がよく聞く。」これは噂でございますが、先生方にも今私が申し上げた皆さん方への思い、また行政、職員、これは教育委員会の職員を含めてですが、是非そういう気持ちを少しでも伝えていただけたらと思います。

長々と申し上げました。今日は本当にいい機会をいただきました。ご意見を十分に聞いてはおりませんが、とりあえずは一応私を含めて委員の皆さん方からのご意見を出していただけたかなと思います。

【藤岡教育次長】 失礼いたします。

時間がいくらあってもこのような論議は終わらないかと思えます。

市長からもだいたいの取りまとめをしていただいたのかなと思います。

委員の皆さん方からは、貴重なご意見をありがとうございました。いただきましたご意見を参考にさせていただきまして、この総合教育会議がうまく機能するように運営できるように、事務局も務めていきたいと思えますので、今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

それでは、協議事項（4）「その他」に移らせていただきます。

その他のところで何かございませんでしょうか。

【藤岡教育次長】 特にないようでございますので、事務局から次回、2回目の定例的な総合教育会議の予定等を連絡させていただきます。時期につきましては、11月をめどに開催を考えております。協議内容については、一つとしましては、今年度上半期の重要施策の状況報告、二つ目といたしまして、次年度に向けた取り組み、などを議題にいたしたいと考えておりますので、日程調整などが整いましたら、ご案内申し上げますのでよろしくお願いいたします。

それでは、本日の協議をこれで終了したいと思っておりますので、中田市長から閉会のご挨拶をお願いいたします。

【中田市長】 はい。第1回南あわじ市総合教育会議を開かせていただきましたところ、各委員の先生方には、大変お忙しい中ご出席賜りまして、そして貴重なご意見いただきました。ありがとうございます。

その思いというのは、先ほども申し上げましたとおり、基本的には私も同じでございます。やはり、これから南あわじ市において、総合教育会議の目的、子どもたちのすこやかな成長を願うということが大きな目的でございます。これからもこの会議が南あわじ市の教育の将来に向けて有意義な会議になりますことを期待しておりますし、年2回の会議ということでございますので、先ほども申し上げましたが、教育委員会の中でちょっと発言してもどうかな、というようなこと、一般行政の方にも、ちょっと考えてほしいなということがありましたら、また個人的にいろいろと面識のある親しい委員さんばかりでございますので、遠慮なくご相談なり、ご指導をいただきたいと思っております。

以上で今日の会議を終わらせていただきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。